

非人道的な破局から 核兵器廃絶へ

「核兵器のない世界」への新しいアプローチ

「核兵器のない世界」に向かう新たな地平として、昨今議論が高まっているのが「人道的アプローチ」です。二〇一〇年核不拡散条約（NPT）再検討会議の最終文書は、核兵器の「いかなる使用」も「壊滅的な人道的結果をもたらす」とし、全加盟国に「いかなる時」も「国際人道法を含め適用可能な国際法を遵守」するよう訴えました。これを受け、世界の心ある国家やNGOからは、核兵器の非人道性を根拠に核兵器の非合法化に向かおう、との動きが強まっています。軍縮外交政策の第一人者として、人道的アプローチの意義を訴え続けてきたレベッカ・ジョンソンさんを迎え、「核兵器と人類は共存できない」という被爆地のメッセージを世界の「常識」に変えるために、いま私たちは何をすべきかを考えます。

2012年 8月22日(水)
18:30-20:30

場所：長崎原爆資料館ホール

お話：レベッカ・ジョンソンさん

(英アクロニム研究所所長) ※逐次通訳付

事前申し込み不要／入場無料

共催：長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)
核兵器廃絶地球市民集会長崎集会実行委員会
(公財)長崎平和推進協会



レベッカ・ジョンソン

英アクロニム軍縮外交研究所所長。核兵器禁止国際キャンペーン(ICAN)副議長を務める。ハンス・ブリクスらによる「大量破壊兵器委員会」のシニアアドバイザー、英国最大の反核NGOであるCNDの副議長、『Bulletin of the Atomic Scientists』副評議委員長などを歴任。

問合せ先：長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

〒852-8521 長崎市文教町1-14 TEL: 095-819-2164 FAX: 095-819-2165
recna@ml.nagasaki-u.ac.jp <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>